

学校だより



平沼

横浜市立平沼小学校

令和 2年 4月 7日

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/>

どんなときでも自分でしっかり考えられる一年になりますように

校長 長谷川 絹子

透き通るような黄緑色の若葉が、柔らかな春の日差しの中で輝いています。まだまだ、か弱く繊細な一枚一枚ですが、これから深い緑色に変わりながら大きくなっていく姿は、子どもたちの成長する姿と重なり、応援の思いでいっぱいになります。

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。昨日の入学式は立派な110名の新一年生を迎え、新たな喜びと期待でいっぱいになりました。令和2年度は、新校舎やきれいになった校舎、校庭のもと、全校児童654名（23学級）でスタートしました。学校教育目標『平沼で生き 平沼から輝く子』を目指し、新たな気持ちでこの一年間を児童とともに歩んでいきたいと思えます。

しかし、世界中が新型コロナウイルス感染症により混乱している現状では、横浜でも子どもたちの健康、命を守るための感染予防が喫緊の課題となっています。仲間とともに学び、語り合い、元気に遊び、笑顔で過ごすことで子どもたちの豊かな成長を育むことが学校の使命ですが、大きな不安、リスクを考慮し、臨時休業という判断がなされました。目を輝かせ期待をもって元気に登校する子どもたちをいつも通り迎えることができないことは本当に辛いことです。

2年生から6年生においては、3月からの長い臨時休業をどう受け止めているのでしょうか。いつもの夏や冬の長期休業とは違い、例年ですと学校で学習を進めているときです。こんなに休みが長くなるときと、学習の習熟、体力・健康の維持、人間関係づくりなど多くの不安、ストレスが生じてきていると思いますが、こんな時であるからこそできる、より普遍的な力を付けるチャンスになることを願っています。昨年度の修了式では、「今の身の回りや世界で起こっていることをしっかり見つめる、気づく、疑問をもつ。そして、自分の考えをもってほしい。」と伝えました。衛生管理の大切さ、ウイルスの恐ろしさ、医療に携わる方たちの姿、世界はつながっているということなど、子どもたちの視点や感性で向き合ってもらいたいと思っています。そして、自分で課題に気づき、主体的に学ぶことの意義に気づくことを期待しています。

子どもたちだけでなく保護者の皆様、地域の皆様が健康に過ごされるとともに、一日も早く安心して過ごすことができる学校生活が再開することを切に願っております。なかなか先が見通せない一年の始まりにはなってしまいましたが、今年度もご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。